



Press release

2018年1月25日

アクサ生命、横浜市と健康経営^(※)の推進にかかる 包括的連携に関する協定を締結

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼CEO:ニック・レーン)は、2018年1月25日、横浜市(市長:林 文子)と、市内企業等の健康経営の推進に係る取り組みにおいて、相互の協力が可能な分野における連携を推進するため、協定を締結しました。

本協定は、横浜市と当社が相互に連携・協力し、市内企業等における健康経営の推進に向けた取り組みを通じて、従業員等の健康増進及び市内経済の活性化に資することを目的としています。

本協定の締結により、当社が保険事業や健康経営の推進、CR活動などを通じて培った知見と人的ネットワークを横浜市の各種施策にお役立ていただき、市民の皆さまの健やかな生活と地域の発展のために共に取り組んでまいります。

(連携・協力事項)

上記の目的を達成するため、次に掲げる事項を協力して実施する。

- (1)横浜市が実施する「横浜健康経営認証制度」の普及及び啓発に関する事項
- (2)横浜市が実施する市内企業等の健康経営の推進に向けた事業の普及及び啓発に関する事項
- (3)アクサ生命が横浜市の区域内で行う、健康経営に関する各種取り組み及び啓発活動等に関する事項
- (4)その他、市民の健康増進、市民サービスの向上、地域社会の活性化に関すること

アクサ生命は、横浜市内において、営業部門の社員110名(2018年1月現在)が、日々、事業のリスク対策やライフプランのアドバイスを行うなど、地域に根差した活動を続けております。

本協定締結を契機に、アクサ生命は今後さらに、健康経営の推進や健康増進のサポートといった面からも、横浜市民の皆さまのよりよい人生のための「パートナー」となることを目指した取り組みを進めてまいります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

アクサ生命について

アクサ生命はAXAのメンバーカンパニーとして1994年に設立されました。AXAが世界で培ってきた知識と経験を活かし、237万の個人、2,200の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2016年度には、2,522億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。また、「アクサ損害保険」と「アクサダイレクト生命」を連結する親会社として、子会社各社の経営管理・監督を行っています。

AXAグループについて

AXAは世界64ヶ国で16万5,000人の従業員を擁し、1億700万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2016年度通期の売上は1,002億ユーロ、アンダーライティング・アーニングス(基本利益)は57億ユーロ、2016年12月31日時点における運用資産総額は1兆4,290億ユーロにのぼります。AXAはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、AXAの米国預託株式はOTC QXプラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社 メディア&パブリックリレーションズ
電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>